BEATA MUSICA TOKIENSIS 17TH CONCERT
ベアータ・ムジカ・トキエンシス　第17回公演

めでたし海の星
～ 花のイタリア・ルネサンス音楽の隆盛 ～
レクチャー付きコンサート

ジョヴァンニ・アニムッチャ ミサ《めでたし、海の星》
Giovanni Animuccia (c.1520-1571) Missa Ave maris stella

G.P.daパレストリーナ「良い羊飼いは復活されました」
Giovanni Pierluigi da Palestrina (1525? 1594) "Surrexit pastor bonus"

パオロ・アニムッチャ「おお、いとも聖なるマリアよ」
Paolo Animuccia (? 1569) "O sanctissima Maria"

フランチェスコ・コルテッチャ「おお、天の王よ」
Francesco Corteccia (1504-1571) "O Regem caeli"
他

※曲目は予告なく変更することがございます。

ベアータ・ムジカ・トキエンシス Beata Musica Tokiensis
鏑木綾・望月万里亜・長谷部千晶・及川豊・田尻健・小笠原美敬
賛助出演　青木洋也・谷本喜基　　**レクチャー**　長岡英

2025年

聖グレゴリオの家チャリティーコンサート

8月24日(日)14:30開演(14:00開場)
聖グレゴリオの家 聖堂

8月27日(水)19:00開演(18:30開場)
日本キリスト教団 番町教会

※いずれも開演15分前より、長岡英氏によるレクチャーがございます。

■チケット(全自由席)
一般 4,500円（当日 5,000円）
ペア 8,500円　学生 2,500円
※学生券は、当日受付にて学生証をご提示下さい。
※ペア券の取り扱いは前売りのみとなります。

■チケット取扱
オフィスサワイ 090-2243-3210(直通)
E-mail: officesawaimusic@gmail.com

teket(テケト)
8/24 聖グレゴリオの家公演　https://teket.jp/6691/49950
8/27 番町教会公演　https://teket.jp/6691/49953

teket QRcode

公演内容に関するお問い合わせ:トキエンシス　beatamusicatoki@gmail.com　042-455-1997(公演当日以外)
主催:ベアータ・ムジカ・トキエンシス(公式サイト http://beatamusicatoki.wix.com/beatamusicatokiensis)

4年前に演奏して大好評を頂いた、知られざる大作曲家ジョヴァンニ・アニムッチャ待望の再演！
本公演では、なかなか取り上げられることのないジョヴァンニの兄弟パオロ・アニムッチャや、アニムッチャの出身地フィレンツェで活躍し、彼に影響を与えたとも言われるフランチェスコ・コルテッチャらの作品もご紹介。
今年生誕500年とも言われているパレストリーナからは、演奏される機会の少ない8声のモテットなどを演奏致します。
今回はスペシャルゲストを2名お招きし、ベアータとして最大編成となる8声で、声だからこそできる華やかかつ重厚なサウンドをお届けいたします！

《Beata Musica Tokiensis メンバー紹介》

鏑木 綾(かぶらき あや／ソプラノ)
国立音楽大学声楽科卒業、東京藝術大学大学院古楽科バロック声楽専攻修士課程修了。声楽を稲森雅子、益田道昭、佐竹由美の各氏に、バロック声楽を鈴木美登里、野々下由香里の各氏に、ルネサンス・ポリフォニーやグレゴリオ聖歌の演奏法を花井哲郎氏に師事。ヴォーカル・アンサンブル カペラ、サリクス・カンマーコア、ベアータ・ムジカ・トキエンシス、各メンバー。カルテット・プロヴィゾワール座長。X&Instagram→@ayakaburaki

望月 万里亜(もちづき まりあ／ソプラノ)
大宮光陵高校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。これまでに朝倉蒼生、佐々木典子、鈴木美登里の各氏に師事。ルネサンスポリフォニーやバロック期の声楽作品、ロマン派歌曲を得意とし、おもに教会音楽にてソリスト及びアンサンブルメンバーとして出演、録音に参加。バッハ・コレギウム・ジャパン、ベアータ・ムジカ・トキエンシス、各メンバー。BONA MUSICAE MEMBRA(ボナ・ムジケ・メンブラ) 主宰。

長谷部 千晶(はせべ ちあき／ソプラノ)
フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒。声楽を花井尚美、鈴木美登里、原雅巳、古楽声楽アンサンブルを花井哲郎の各氏に師事。ルネサンスのアカペラアンサンブルをメインに活動する他、ジェスチャー付バロック・オペラにも多数出演、指導アシスタントを務める。ルネサンス期の記譜法である白色計量記譜法を指導。アカペラ編曲も手掛ける。ポリフォニーの楽しさを分かち合う「ポリフォニーを歌って、話して、楽しむ会」主宰。「レ・グラース」「ベアータ・ムジカ・トキエンシス」各メンバー。

及川 豊(おいかわ ゆたか／テノール)
盛岡市出身。岩手大学教育学部及び東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業。バッハのカンタータや、シュッツ、シャルパンティエ、ヘンデル、モーツァルトの宗教曲を中心にソリストを務める。福音史家としてはバッハのみならず、H.ディストラー、ヘルツォーゲンベルクの受難曲においても好評を得た。グレゴリオ聖歌・中世・ルネサンス期のアンサンブルの分野においても活躍しており、ヴォーカルアンサンブルカペラ、ラ・フォンテヴェルデ、聖グレゴリオの家聖歌隊「ファヴォリート」の多くの演奏会、録音に参加。聖グレゴリオの家宗教音楽研究所合唱講師。

田尻 健(たじり たけし／テノール)
熊本県出身。関西学院大学法学部法律学科卒業。エリザベト音楽大学大学院音楽研究科宗教音楽専攻修士課程修了。フランスのオーベルヴィリエ・ラ・クールヌーヴ地方音楽院にてバロック声楽のDEM(音楽研究資格)取得。ヘンデルの「メサイア」、バッハの「ロ短調ミサ」、モーツァルトの「レクイエム」などのソリストとして様々なコンサートに出演。オペラではヘンデルの「アルチーナ」オロンテ役、ラモーの「プラテー」テスピス役などを演じる。エリザベト音楽大学非常勤講師。

小笠原 美敬(おがさわら よしたか／バス)
東京藝術大学大学院修了。平成14年度文化庁芸術家在外研修員としてドイツに留学。故・小笠原克美、高橋大海、マックス・ファン・エグモント、故・ノーマン・シェトラー、ペーター・コーイの各氏に師事。ライニッシェ・カントライ、コレジウム・ヴォカーレ・ゲント、BCJなど世界屈指の古楽アンサンブルのメンバーを歴任し、古楽に精通するバス歌手の一人として国内外で数多くの演奏会や音楽祭に出演している。“ラ・フォンテヴェルデ”メンバー。

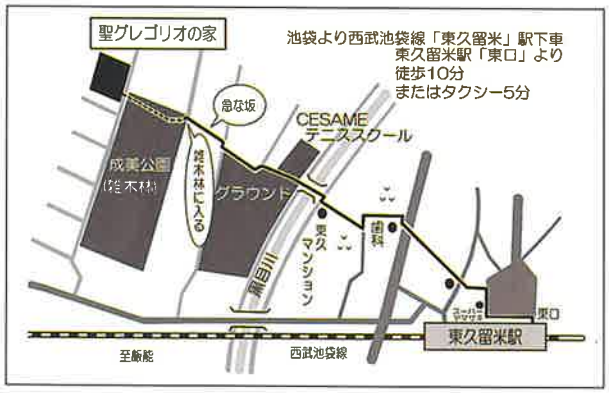
－賛助出演－

青木洋也(あおき ひろや／アルト)
東京藝術大学大学院で古楽演奏、エリザベト音楽大学大学院で宗教音楽学を学び、在学中より定期的に渡欧して研鑽を積む。宗教音楽を専門とし、J. S.バッハの《マタイ》《ヨハネ》の両受難曲や、多数のカンタータの独唱をつとめる。バッハ・コレギウム・ジャパンの主要メンバーとして国内外の公演・録音に参加している。近年は、合唱指揮者としても活躍しており、指導にあたっているアマチュア合唱団は14団体を数える。

谷本喜基(たにもとよしき／バス)
和歌山県出身。幼少期よりピアノを嗜み、高校在学中に声楽を始める。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。現在は都内を中心に数々の合唱団の音楽監督、指導者を務めるほか、指揮者、ピアニスト、歌手、イングリッシュハンドベル奏者、またアレンジャーなど多岐にわたる活動を展開している。2025年3月には役者デビューし、望海風斗主演舞台「マスタークラス」(演出:森新太郎)に伴奏者役として出演した。音楽団体「イコラ」代表。

長岡英(ながおか めぐみ／レクチャー)
東京藝術大学音楽学部楽理科及び同大学院修士課程、ブランダイス大学大学院博士課程修 了。博士(音楽学)。専門はルネサンス時代の宗教音楽。2005 年「ジョヴァンニ・アニムッ チャのミサ曲」研究により第 18 回辻荘一・三浦アンナ記念学術奨励金受賞。武蔵野音楽大 学他講師。音楽学研究の傍らアマチュア・オーケストラでヴィオラを弾いており、『オーケ ストラがもっと楽しくなる!クラシック音楽の基礎教養』(『オケ奏者なら知っておきたいクラシックの常識』新装版)の著作もある。訳書に『上手に歌うための Q&A』など。

聖グレゴリオの家
東久留米市氷川台2の7の12



聖グレゴリオの家チャリティーコンサート
聖グレゴリオの家は、1979年9月に独立宗教法人として故ゲレオン・ゴルドマン神父(フランシスコ会)によって設立され、祈り、研究、教育という3本の柱から成り立っています。その目的は、祈り、典礼を祝いながら、教会音楽の研究、保存と普及、教育を行うことにあります。

日本キリスト教団 番町教会
東京都千代田区六番町7の12

BEATA MUSICA TOKIENSIS